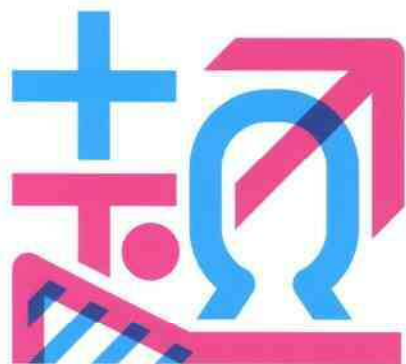




資料 1



2020年、渋谷。 超福祉の日常展 を体験しよう展 SUPER WELFARE EXPO

2014.11.12(Wed)→11.18(Tue)

8/ hachi @ Shibuya Hikarie 8F

11:00-20:00 (except until 16:00 on last day)

*Symposium 11.13(Thu) 13:00-19:15



2020年、渋谷。 超福祉の日常 を体験しよう展 SUPER WELFARE EXPO

2014.11.12(Wed)→11.18(Tue)

渋谷ヒカリエ 8階 (8/ハチ)

11:00-20:00 (最終日16:00迄) / シンポジウム 11.13(Thu) 13:00-19:15

Whenever you hear about assistive devices and technology, do you think that 'oh, it has nothing to do with me'? In Japan, although infrastructure barriers such as in buildings and roads are lowered year by year for those with mobility issues, the psychosocial consciousness barrier amongst people remains high. In this exhibition, we aim to present a series of well-designed assistive technology which goes beyond basic mobility functions you would also think is stylish to wear and interesting to use. At the symposium held simultaneously with this exhibition, we have gathered pioneering researchers and experts, as well as people who never thought they would associate themselves with assistive technologies, in an exchange of dialogue towards a positive, forward-moving key value of 'super assistive welfare.' Let's think about making 'the streets of Shibuya a place of super assistive welfare in 2020' a reality. Let's give super assistive welfare a place in Japan, a place in the world.

福祉や福祉機器と聞いても、なんとなく「自分には関係ない」と感じてしまう人も少なくないと思います。日本では建物や道路の物理的なバリアは年々低くなる一方で、一人ひとりの心の中に存在する「意識のバリア」はまだまだ高いまま。今回の展覧会では、思わず「カッコいい」と着けてみたくなる、「カワイイ」と使ってみたくなるデザイン、また健常者以上の機能を与えてくれる「ヤバイ」テクノロジーの福祉機器や福祉サービスを集めました。同時開催されるシンポジウムでは、先駆的な研究者や実践者、従来の福祉の文脈では登場しない人々にも集ってもらい、福祉の新しい選択肢となる「超福祉」のあり方について語り合ってもらいます。「2020年、超福祉が実現した渋谷の街の日常」を実際に感じて、考えて。ここから日本中に、世界中に超福祉の風をいっしょに起こしていきましょう。

最新モビリティに
試乗できる!

2020年の
超福祉ショップを体感!

「これ、福祉!」な
トークセッション!

展示 11.12 (Wed) -11.18 (Tue) 11:00-20:00

最先端の車イスやパーソナルモビリティなど、渋谷の街を走ってみたい超福祉機器が並ぶ「ストリート・エリア」。アートとテクノロジーが融合した義足のカスタマイズショップ、未来型ブックストア、超人スポーツショップなど、超福祉アイテムを展示予定の「ショップ・エリア」。2つのエリアを自由にご覧いただけます。



ストリート・エリア

WHILL株式会社 (WHILL Model A)、セグウェイジャパン株式会社 (Genny™ 2.0)、YAMAHA MOTOR × Tamae Hirokawa (JWコンセプト)、株式会社オーエックスエンジニアリング (GWXIII)、RTワークス株式会社 (電動歩行アシストカート)、有限会社 宇賀神溶接工業所 (HandBike Japan HBJ-YE20)、株式会社クラモト・株式会社グラディエ協同出品 (トラベルスクーター-Luggie)

ショップ・エリア

遠藤 謙、遠藤 謙 × More Than Human (sense+take to kobayashi)、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 (KMD) Reality Media、電気通信大学 大学院 情報システム学研究科 野嶋研究室、名古屋工業大学機械工学科 佐野研究室、株式会社小学館、ヤフー株式会社、株式会社メガハウス、特定非営利活動法人スローレーベル

アクセス

渋谷ヒカリエ8階「8/ハチ」

〒150-8510 東京都渋谷区渋谷2-21-1

○公共交通機関からのアクセス

東急東横線・田園都市線、東京メトロ副都心線「渋谷駅」15番出口直結 JR線、東京メトロ銀座線、京王井の頭線「渋谷駅」と2F連絡通路で直結

WEB: <http://www.peopledesign.or.jp/fukushi/>

シンポジウム 11.13 (Thu) 13:00-19:15

11月13日木曜日は同会場にてシンポジウムを開催。現役大学院生・卒業生による研究発表やTOYOTAによる講演、さらにオランダから来日したリチャード・グーゼン氏やソニーコンピュータサイエンス研究所に在籍しながら競技用義肢の開発に携わる遠藤謙氏、宇宙兄弟をはじめ、様々なヒット作の編集を担当するコルクの佐渡島氏など、これまでの福祉の枠を超えた方々が集い、超福祉の可能性などについて語り合います。

○KMD が作る「未来の普通」

～これまでの取り組みとこれからのビジョン～ — 13:00-14:00 予定
慶應義塾大学 大学院 メディアデザイン研究科 (KMD) による研究発表

○違いは、個性。ハンディは、可能性。 — 14:00-14:40 予定
鈴木徹選手、花岡伸和選手、GIMICO氏、須藤シンジによる講演

○街をフレンドリーにするOSを仕組む — 15:00-16:30 予定
TOYOTA、東急電鉄、SFC寛氏による講演

○基調講演とクロストーク — 17:00-19:15 予定



超福祉の可能性：ヘルスケアにデザインが出来ること
Medisign: What design can do for healthcare
TU Delft デルフト工科大学教授 人間工学博士
リチャード・グーゼン



身体の可能性とミライ
ソニーコンピュータサイエンス研究所研究員
遠藤 謙



興味を喚起する「編集」～福祉を面白く語れるか?～
株式会社コルク 代表取締役社長
佐渡島 庸平
Photo: KENTARO KAMBE



クロストーク司会
NPO法人 ビープルデザイン研究所代表理事
須藤 シンジ